



自分の得意なところを伸ばそう

・周りから、お客さまから素晴らしいと言われる社員と会社になる・

社長 山根久志

先日出雲市出身のメゾソプラノ歌手、青山恵子さんの「日本の詩コンサート」を聴く機会に恵まれました。物語は小泉八雲原作の「雪女」と「耳なし芳一」。私はこのコンサートに感動しました。

青山さんはもともと幼少の時代から音楽が好きで、東京芸大大学院博士課程を修了した芸術家です。しかし私の胸を打ったのは、彼女の学歴とか経歴ではなく、ふるさと出身の共演者と一緒になって、東京からふるさとへの熱い想いを歌ったことにあります。それが私の心に響いたのです。

一芸に秀でるとい言葉があります。彼女の才能は、おそらく子供の頃から好きな音楽を、厳しい指導の下で、延々と学び続けてきた結果です。もとよりご両親から音楽の資質は受け継がれたとしても、彼女の長い間の弛まぬ努力の積み重ねが、あの心に響く歌と満面の笑みになったと感じました。一流とはそんなものだとは私は信じます。

私たちには、一流大学大学院の卒業生も博士号を持った社員もいません。しかしそれだからと言っ

て、私たちがこの業界で一流、一番になることは不可能か？ そんなことはない。可能です。

こんな例があります。中小企業から世界的な大企業になられた京セラの稲盛さんが、創業間もなく、社員へ向かって「と金」になろうと訴えられたというのです。

将棋でいう「と金」とは、「歩」であっても敵陣に入れば、最強の「金」になって、前後左右、縦横無尽に堂々と戦うことができます。

自分の得意なところ、自分が伸ばしたいことを、人よりも多くの時間をかけ努力する。人よりも多く本を読み、人よりも多く学ぶのです。そしてこの分野なら貴方しかいない。誰もが一目おく、この業界での一流、一番を目指してほしい。

やがて皆さんは、ライバルからは嫌われるが、お客さまからは強く強く必要とされる社員になることができます。もちろん社員からも、会社からもなくてはならない存在になれるのです。

私はこう考え、こう実行します

【安原】お客さまに喜んでいただけるすべてのことを社員と一緒に考える。総合力！

【松下】お客さまに必要とされる社員として、お客さまとの接点を増やす。

【河上】地元地域の要望に応える

【岸本】まず自分の得意なことをもう一度確認し、それを伸ばす。

【山口】私は人よりも多く本を読みます。

【吾郷】お客さまももっと会話してお客さまの困ったを聞き出す

【大國】現場目線の提案を心掛ける。

【木村】なくてはならない存在になる。

【木村憲】何が得意か探して伸ばす。

【榎並】自分の得意なところを伸ばせるように様々なことに挑戦し努力します。

【松本】自分の得意なところを人一倍努力し一番を目指します。

【横地】時間を有効に使い、月にもう1冊多くの本が読めるようにします。

【高橋】私は、協力して下さる方・助言して下さる方の話をもっと聞けるような、会話をする努力をします。

【岡田】自分の良いところを伸ばします。

【植尾】まず自分のよい部分を探し、見つけたことを伸ばしていく。

【恩村】現状に満足することなく自分を高める努力をします。

【長谷川】自分の得意分野を伸ばしお客さまから必要とされる社員になります。

【安達】笑顔で挨拶をする様心掛けます。

【野々村】日々の努力を怠らず、必要とされる存在になります。

【小村】「好きこそものの上手なれ」という言葉を心に留め、自分の能力を高めていきます。

【藤原】目標を持ち、仕事をする。

【金森】チームワークを大切にしなければ必要とされる社員になります。

【藤原大】学ぶことがまたたくさんあるので、がんばっていく。

【田中】興味のある科学分野の知識を伸ばして、自己を成長させます。

【石橋】「歩」が無ければ「玉」は取られる。「歩」は「玉」よりも強い。

【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全(KY)、を徹底し、安全作業ができるように、常にチェックして作業を行います。

【清水】私は、得意とするところをもっともっと伸ばせるように努力します。

【足立】私は何事も素直な気持ち謙虚さを忘れず取り組みます。

【藤田】丁寧で正確な対応が出来るよう、日々、学び努力したいと思います。

【長野】本をたくさん読んで、文章力を向上させます。

将来の夢は・・・ 一級建築士！！

湖陵中学校3年三原君が、9月18日から20日まで、職場体験に来社しました。

三原君は、三つの目標を持って臨みました。①ケガをしないよう気をつける。②迷惑にならないようにする。③大きな声で返事をする。

初日はタンク架台の錆止め塗装です。「塗りにくいところから、塗って！」と藤原社員に指導を受け、身体を動かしていろいろな角度から、ローラーを駆使して塗っていました。架台の下部のほうは、砂利がついてやりにくかったようです。それでも、「ムラなく上手にできている」と、他の社員から誉められていました。

三原君も、「楽しくできた。優しく教えていただいてよかった」と、出来栄えに満足そうでした。



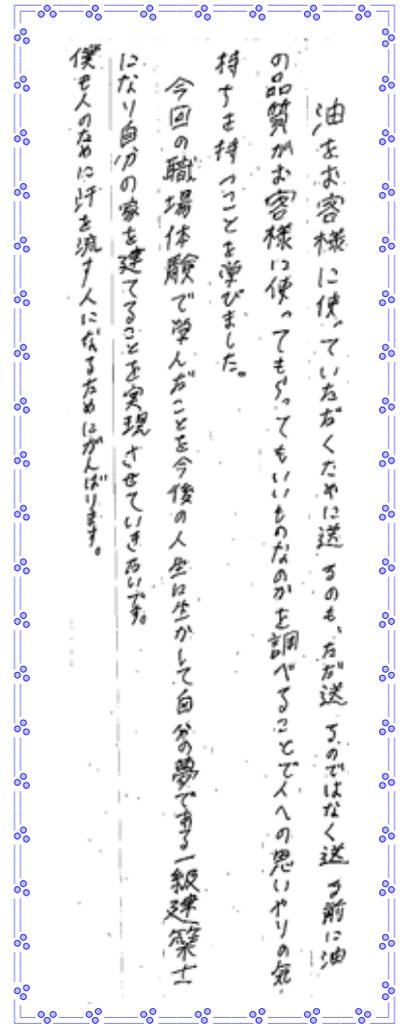
和やかに休憩中です。
写真左から、石橋社員、
三原君、藤原社員。

午後は、玉湯町の客先のボイラー掃除に同行しました。石橋社員から、「三原君が手伝ってくれて、助かった」と喜んでもらいました。

当社で体験したことが、将来の職業選択の参考になれば幸いです。どんなときでも明るい笑顔と大きな声で挨拶ができるようになってほしいと思います。

(長野)

三原君より礼状をいただきました。



#105 車輻故障

お客様先の駐車場で、タンクローリーを発進させようとしたら、突然にギアが入らなくなりました。公道でなく、駐車場だったので良かった。発進する時は、ギアをセコンドにに入れてエンジンをかけて発進し、動いたらエンジンの回転数に合わせて、ギアをいれた。

自動車メーカーのサービス工場へ持ち込むと、クラッチ内部の部品の損傷ということだった。幸い事故には至らず、安心した。

今後、車輻の異常には五感を使って細心の注意を払い、事故防止に努めていく。普段から車の音を聞き、通常の状態を把握しておきたい。
(吾郷)



クラッチ内部写真
破損部

「山陰興業」 全国誌で発信！



日本フルハップ発刊の月刊誌「まいんど」10月号に当社が掲載されました。これは、島根中央信用金庫 的場理事長のご推薦によるものです。数ある取引会社の中から当社を選んでいただき、大変光栄に思います。

当社の記事が全国各地で読まれることになりました。早速、大阪の経営者から反響がありました。

これからも、お客様のお役に立つことを考え、自信と誇りをもって、業務を遂行してまいります。

(長野)

お客様紹介

有限会社寺本商店 様

〒684-0004
鳥取県境港市大正町112
TEL 0859-42-3056
FAX 0859-44-7360
<http://teramotoshoten.co.jp>



元気・笑顔のお手本です。
田崎所長の笑顔で、お客様も和みます。

地元ナンバー1

鳥取県境港市の水木しげるロードから一番近いガソリンスタンドです。ガス・石油製品販売、上下水道工事、太陽光発電、リフォーム工事、損害保険を取り扱っています。

「すべてにおいて、アスリートになる」と、統括部長の内山様が力強くおっしゃいました。それぞれの部門において、お客様から信頼をいただき、ナンバー1になるというものです。

境港では、近年、下水道工事が進められ、当社も地域に密着し、地元での作業を受注し、お客様とより密なる関係を築いています。

太陽光発電の設備施工も各地で需要が増えています。境港市は発電能力が高い地域で、順調に設置数が伸びています。



新設された可動式ピット。これにより安全で迅速な作業が出来ます。



元気いっぱいの内山統括部長、門脇様、重野様、永井様（写真右から）。皆様、本好きで、弊誌紹介の本を借りていただいています。

笑顔・元気・フルサービス

寺本商店は元気のあるスタンドとして、有名ですが、この元気は内山統括部長が牽引しています。

「元気、笑顔、フルサービス」を社訓として、浸透させ、実に感じがよいスタンドです。社員誰もが大きな声でお客様をお迎えします。

笑顔で元気がよい大きな声での接客に、馴染みのお客様や観光で境港を訪れたお客様も安心されます。地域密着である姿勢が多くのお客様を作っているのだと感じます。「あんたがいるからなー（来店するんだよ）」とお客様にいつにいただき、感謝することも。常にお客様に喜んでいただくことを考えています。

「当店は、洗車を大事にしています。わざわざ洗車だけに来られるお客様もいらっしゃいます。車を長持ちさせるためにも是非おすすめします。お客様を笑顔でお迎えます」と、社員の皆様から、ステキな笑顔で言っていただきました。

（聞き手：長野）

リニューアルされた事務所内。待ち時間をゆったりとお過ごしください。



社員全員が経営に参加し、
何処よりも強い会社をつくる

第41期、会計学の勉強会がスタートしました。幹部及び関係社員が会計学を学ぶことで、1円の利益を大切に社員を育てるということを目的としています。第1回目は、杏林大学教授 千葉先生をお招きしての講義でした。

財務諸表の一つである、貸借対照表と損益計算書は同時に作成され、企業のある一定期における収益と費用の状態をあらわしています。今回の講義で、この二つの関係を再認識することができました。この貸借対照表と損益計算書は、「会社のカルテ」と呼ばれ、会社のお金の出入りが明確にあらわれています。よって、会社の健康状態が一目で解る仕組みになっています。

会社がよい健康状態を保つために、お客様のお役に立ち、喜んでいただけるよう業務に励んでいきます。

（長野）



杏林大学教授
千葉先生の講義は
解りやすく、大好
評でした。



「まず自燃型人間になる」

9月30日、日本経営合理化協会主催で新将命氏の「次代リーダー塾」を受講させて頂いた。

新先生曰く、人には
自ら燃える「自燃型」
人に火を付けられると燃える「可燃型」
誰に何を言われても燃えない「不燃型」
人を燃やすことができる「点火型」

があると言われました。リーダーに必要な要素は、とであり、一番に取り組むべきことはまず自分自身が、「自燃型人間」になることである。

「自分は燃えているか？」常に自分に問いかけて仕事に当たりたい。

もう一つ、燃えている人の火を消す「消化型」もあるそうだ。これには絶対になってはいけない。

（安原）



夏の暑さも和らぎ、朝夕はとても涼しくなってきました。ミニトマトは暑い盛りに甘い実をたくさんつけ、収穫の喜びを味わうことができました。花類はまだ、たくさんの花を咲かせ、道行く人たちの目を楽しませてくれています。

元気の出る言葉

中村天風師

人間が自分の人生に対して絶対的に積極的な心の態度で生きるといことは、この複雑混沌たる世相にあっても、ほんとうに幸福に生きぬいていく秘訣である

人生において苦しいことも辛いこともあるでしょう。
いつも春風駘蕩たることばかりではありません。人生の波瀾に打ち勝ち、乗り越えていくという気持ちをもって、前進するのみです。

（長野）



「そばの花」種まきしてから、二、三ヶ月で収穫できます。十一月頃には、新そばが食べられます。

最高の自分を引き出す法

人は何度でも生まれ変わっていきける
スタンフォードの奇跡の教室
in JAPAN
ケリー・マクゴニガル



私にとっては初見の人です。著者はスタンフォード大学の心理学者。「人は何度でも生まれ変わっていきける」と、例えば考え方を考えることによって、自分の幸せを自分でつかむことができると教えています。

どんなつらいとしても、つらい思いをしているのは自分だけではない、ということをお出しします。

人は誰でも失敗をします。挫折もするし、あやまちも犯します。

しかし、人は誰でもあやまちを犯すことを忘れずにいられれば、何も自分だけがそういう欠点を抱えているわけではないとわかります。

そうすると、もういちど目標に向き合っ、取り組めるようになります。(P91~92)

私もおちいりやすいところです。この本は自分の考え方を考えることで、自分の幸せをつかむことをやさしく説いています。この人の前著がベストセラーである訳が判ります。

この際英語で聴きたい人は、この講演を録音したDVDが付いています。国際人になりませんか？
(山根)

蔵書新着情報

- ・最高の自分を引き出す法 ケリー・マクゴニガル 大和書房
- ・戦略思考トレーニング 鈴木貴博 日本経済新聞出版社
- ・燃える闘魂 稲盛和夫 毎日新聞社
- ・人望の法則 西田文郎 日本経営合理化協会
- ・新幹線 お掃除の天使たち 遠藤功 あさ出版
弊社 安原常務より寄贈いただきました。
ありがとうございます。
- ・日経トップリーダー 2013 8月
- ・プレジデント 2013年 9/16号

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に、きのこセットを差し上げます。クイズの締切は10月末です。奮ってご応募下さい。



Q：日本に消費税が導入された年とその時の首相を教えてください。

先月号の答は、「1964年東京、1972年札幌、1998年長野」でした。雲南市 清水様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

お知らせ

11月に松江市と出雲市で開催されるイベントに出展します。是非ご来場ください。

出雲産業フェア2013

日時：H25.11.2(土)~11.3(日) 10:00~16:00
場所：出雲ドーム

2013松江市環境フェスティバル

日時：H25.11.17(日) 10:00~15:00
場所：くにびきメッセ1F 大展示場

家庭で要らなくなった天ぷら油を使い、クリスマスキャンドル作りを行います。

編集後記

足立美術館(島根県安来市)で北大路魯山人展が開催されました。美食家で料理人として有名ですが、絵画・陶芸・書などに才能があり、芸術家としても大成しています。大正から昭和にかけて、たびたび石川県を訪れ、豊かな食文化と伝統文化を吸収したようです。

魯山人の料理哲学の一つに「食材の持ち味を生かす」というものがあります。旬の食材をあまり手を加えずに味わうことを好み、素材の旨みを大切にします。食物の旬が感じられない昨今、季節の食材をシンプルに味わいたいものです。

足立美術館は横山大観で有名ですが、魯山人の常設展示物も相当数あり、お勧めします。(長野)



技術の伝承 ここにあり



作業は工程通りに進み、本日はマンホールと通気口の取付作業です。図面通りに着々と形が出来上がり、「物作りはおもしろい」と鎌田社員(写真右側)と藤原社員。

9月19日、お客様へ納品するタンク製作の安全祈願祭を執り行い、タンク製作がスタートしました。

昨年、鳥取営業所の30KLタンクを自社製作し、このたびは20KLタンクで2基目になります。この道一筋のベテラン鎌田社員、河上部長、藤原社員が中心となって順調に作業が進んでいます。完成は、10月下旬頃で、11月中旬にはお客様先へ据え付けの予定です。

「ノズルやタラップなどを作業開始前に作成しておいたので、余裕をもって作業できる。皆さんに協力してもらいながら、安全で確実ないい仕事をし

ていきたい。今までの経験を最大限いかしていききたい」と、鎌田社員。

「鎌田さんにいろいろと教えてもらいながら、溶接技術等を身につけ、将来は自分でもタンク製作ができるようになりたい。また、お客様先で、安全に安心して長くつかってもらえるように、いいものを創りたい」と、強い意気込みの藤原社員。

ここでも、約50年の長きにわたる経験に培われたものづくりの技術が、若い社員に伝承されようとしています。そして、それがお客様の喜びと感動につながるように。(聞き手長野)